

# 議会だより

## 9月定例会

■発行／八千代町議会

No.191

■編集／議会だより編集委員会

### 令和4年度歳入歳出決算・水道事業決算を認定

令和5年第3回定例会は、9月5日から15日までの11日間の日程で開催されました。この定例会では、議員提出議案3件のほか、町執行部から令和4年度決算をはじめ、補正予算など13議案が提案され、審議の結果、全ての議案を原案のとおり可決しました。また、水垣議員より、議員定数の見直しを求める動議が提出され、特別委員会が設置されました。

#### 可決した議案内容

##### ●議員提出議案

◇再審法改正を求める意見書の提出

再審請求手続における全面的な証拠開示の制度化及び再審開始決定に対する検察官による不服申立ての禁止の内容を盛り込んだ再審法改正を要請するものです。

##### 【提出先】

・衆議院議長 ・参議院議長  
・内閣総理大臣

◇教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出

計画的な教職員定数改善による少人数学級の推進と義務教育に係る予算措置の堅持を要請するものです。

##### 【提出先】

・衆議院議長 ・参議院議長  
・内閣総理大臣 ・財務大臣  
・総務大臣 ・文部科学大臣



##### ●報告

◇令和4年度健全化判断比率等

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見書を添付し、健全化判断比率等を報告するものです。

##### ●予算

◇一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出をそれぞれ3億4508万5千円増額し、予算総額を94億1460万6千円とするものです。

歳出の主な内容は、ふるさと納税基金積立金等を含む総務管理費2億223万8千円。介護保険特別会計繰出金等を含む社会福祉費681万2千円。地域商社出資金等を含む商工費3108万1千円。町道舗装補修工事、幹線道路補修工事請負費等を含む道路橋梁費9504万円。秋のイベント交付金等を含む社会教育費419万7千円を増額するものです。

◇後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ7万7千円増額し、予算総額を2億5784万7千円とするものです。

◇介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ255万4千円増額し、19億690万4千円とするものです。

歳出の内容は、人事異動に伴い職員人件費を増額するものです。

◇八千代中央土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出をそれぞれ3572万5千円増額し、予算総額を1億5103万7千円とするものです。

歳出の内容は、区画整理道路築造工事請負費、工作物移転補償金等を含む土地地区画整理費3572万5千円を増額するものです。



◇農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に変更はなく、歳出科目の金額の組み替えをするものです。

◇水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に変更はなく、歳入歳出科目の金額の組み替えをするものです。



##### ●決算

令和4年度一般会計及び7つの特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算について、常任委員会に審査を付託し、審議した結果、全て原案のとおり認定しました。

● 人事

◇教育委員会委員の任命同意  
現委員が9月30日をもって任期満了となるため、左記の方を新たに任命することに同意しました。

谷中勝さん（坪井）

◇固定資産評価審査委員会員の選任同意

現委員が9月30日をもって任期満了となるため、左記の方を選任することに同意しました。

秋葉三佐男さん（神山）  
新井泉さん（新井）

◇人権擁護委員候補者の推薦

現委員が12月31日をもって任期満了となるため、左記の方を推薦したいとして議会に意見を求められたもので、推薦人が適任であると回答しました。

相田敏美さん（新地）



● 専決処分

◇一般会計補正予算(第4号)  
歳入歳出をそれぞれ6億2498万円増額し、予算総額を90億6452万1千円としたものです。

歳出の主な内容はふるさと納税推進事業費を含む、総務管理費5億1078万円。八千代町主力産品振興助成金を含む農業費1億1420万円を増額したものです。

◇一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出をそれぞれ500万円増額し、予算総額を90億6952万1千円としたものです。

歳出の内容は、省エネ型エアコン購入費補助金を含む保健衛生費500万円を増額したものです。



● 請願・陳情

◇再審法改正を求める意見書採択に関する請願

再審請求事件の審理の適正を制度化し、えん罪被害者の基本的人権を全うするため、再審法改正を求める意見書の提出を要請するものです。

【提出者】

茨城県弁護士会

望月 直美さん

（審議結果 採択）

◇教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

国の施策として、全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられるよう条件整備を行う意見書を国の関係機関に対し提出するよう要請するものです。

【提出者】

茨城県教職員組合

中山 幸男さん

（審議結果 採択）



● その他

◇令和4年度水道事業剰余金の処分

未処分利益剰余金8億2304万1520円のうち、建設改良積立金取崩額6億8376万3774円を資本金へ組み入れ、当年度純利益1億3927万7746円を建設改良積立金へ積み立てるものです。



議会議員定数調査特別委員会を設置

9月15日の本会議において、議会議員定数の見直しを図るため、議員全員で構成する「八千代町議会議員定数調査特別委員会」が設置されました。また、委員長に水垣正弘議員、副委員長に谷中理矩議員が選出されました。



請願・陳情はどなたでも提出できます

「請願」「陳情」は国や地方公共団体などの公共機関に対する要望を議会に訴える手段のことです。

「請願」と「陳情」では提出の方法や取り扱いが異なります。

○ 請願

その趣旨に賛同する議員の紹介が必要です。

その内容を所管する常任委員会で審議します。

○ 陳情

議員の紹介は不要です。提出された陳情の写しを全議員に配布します。

※その他、詳しくは議会ホームページをご覧ください。

# 八千代町の農業のあり方、魅力ある学校づくりについて



安田 忠司 議員

を推進してまいります。

農業委員会事務局長 今回の農地法改正により、農地法3条の下限面積要件が撤廃されました。これにより、新規就農者も含め、大きな面積を必要としない施設栽培や園芸作物など、小規模な農業経営者が農地を取得しやすくなり、今後は、新たな農業者の増加が見込まれます。

全国で農業従事者の減少や高齢化が問題となっており、八千代町も例外ではありません。令和5年度の農地法改正により、下限面積要件が撤廃され、農業のあり方が大きく変化することが考えられます。町の農業の現状と今後の展望を伺います。

産業建設部長 町の農業従事者の平均年齢は県内で2番目に若く、比較的元気だと考えます。しかし、農業の担い手の減少及び高齢化の進行は大きな課題です。町においても、農地の集積・集約化や基盤整備、新たな担い手確保対策、ICT技術導入によるスマート農業への支援、新たな販路開拓として農産物の輸出など

魅力ある学校集団づくりに  
おいて、スクールバスの導入  
や英語教育の充実は重要な課  
題だと考えます。町の見解を  
伺います。

教育長 公立小中学校の通学  
距離については、小学校で、  
概ね4キロメートル以内、中  
学校で概ね6キロメートル以  
内という基準がございます。  
この距離を超えて通学するこ

# これからの住民生活・交流について



せき まさゆき 議員

えます。全ての世代を対象と  
した、新しい交流の場の創出  
に取り組む考えはあるのかを  
お聞きします。

人口減少や少子高齢化によ  
り、子ども会や老人会が存続  
の危機に瀕しています。現状  
と対策について伺います。  
また、今後は住民活動・交  
流も大きく変化していくと考

ととなる場合は、スクールバ  
スの導入も考えていかなけれ  
ばならないと認識しておりま  
す。今後、学校のあり方検討  
委員会において、議論を重ね  
ていただきたいと思います。

町長 町で暮らす外国人も  
年々増加しています。小学生  
の頃から英語教育を始めるこ  
とで、グローバル社会におい  
て、将来的に活躍できる人材  
を育てることができると考え  
ます。今後も、英語教育を推  
進していきたいと考えていま  
す。

教育部長 行政区単位で組織  
されている、単位子ども会が  
60団体あり、その中で5団体  
が子どもの減少により活動を  
休止しています。

今後も、単位子ども会も含  
め、連合組織である八千代町  
子ども会育成連合会による事  
業の更なる充実を図り、子ど  
も達に様々な体験、経験をさ  
せることにより、知・徳・体  
のバランスのとれた「生きる  
力」の育成を図っていきたく  
と考えています。

保健福祉部長 現在、単位老  
人クラブ数は6クラブで会員  
数は189人です。

対策として、八千代町老人  
クラブ連合会の事業である  
「高齢者芸能のつどい」は、  
令和元年まで地区ごとに開催  
していましたが、令和5年度  
は合同で開催することに致し

ました。

町長 町では、住民同士の  
交流の場や地域活動の場とし  
てコミュニティ活動をメイン  
に推進してきました。しかし、  
少子高齢化や定年延長、住民  
の意識変化やコロナ禍による  
活動の停止などにより、これ  
までの地域コミュニティの仕  
組みでは、運営が難しくなっ  
てきており、時代に沿った形  
に変えなければならぬという  
声を数多く聞きます。

これからの時代は、行政区  
などに頼るばかりではなく、  
住民それぞれが、目的意識を  
持ち地域活動や交流活動に取  
り組むボランティアの時代だ  
と思っております。

従来の子ども会や老人会の  
組織を維持しつつも、地域コ  
ミュニティのあり方の見直し  
を進めるとともに、新たに地  
域活動に興味を持つ人が、気  
軽に一步を踏み出せるような  
雰囲気づくりを進めていきたく  
と考えています。



## 自転車を活用したまちづくりの推進



議員 中谷 理矩

鬼怒川サイクリングロードの整備状況についてお聞きします。  
また、観光推進や公共交通の補填、地域の活性化のために、シェアサイクルを整備することを提案します。

町長 野爪地区において、堤防の一部改修に伴いまして、町が使用できる敷地が生まれました。ここを自然を利用したレクリエーションの場、そしてサイクリングロードの拠点、休憩所などに使えばと考えています。  
今年度町全体の公共交通計画の策定を進めています。その中で住民ニーズを把握し、住民の利便性向上に、そして最も効果的な公共交通のあり方を検討していきたいと思っています。シェアサイクルに

つきましても、その中で検討していきたいと考えています。



福祉とは全ての人に最低限の幸福をもたらすための社会的取り組みと言われていきます。町においても、より専門的な知見を持つているケースワーカーを設置することで、一人一人に合った支援計画の策定を行っていくべきと考えます。また、福祉に関する総合窓口を設置することで、相談の第一歩の後押しが出来るのではないのでしょうか。

保健福祉部長 当町におきましてはケースワーカーと称される専門職の配置はございませんが、福祉介護課と子ども家庭課におきまして、担当職員が、福祉サービスを要する方からの相談を受け、問題を把握し、必要な支援につなげており、ケースワーカー同様の業務を担っております。ま

## 子育て支援について



議員 中山 勝三

幼稚園・保育園の児童に対する給食費、保育料の補助について伺います。  
また、幼稚園・保育園の職員の方々の負担軽減のため、新設された給食センターも活

た、今年度開設した八千代町基幹相談支援センターでは障害福祉だけでなく、福祉の総合的・専門的な相談・支援を行っております。

町長 組織改編により、町民くらしの部を新設しました。ここは、町民の皆様の生活に密着したあらゆる相談に応えることを想定しています。



用できるのではないのでしょうか。

保健福祉部長 給食費の補助金につきましては物価高騰教育保育施設の物価高騰対策事業費補助金として、地方創生臨時交付金を活用して実施をさせていただきます。

保育料の補助については、令和5年度から、八千代町独自の取り組みにより、第2子より無償化しています。  
給食センターの活用については、処理能力は問題ありませんが、その他にもクリアすべき課題がありますので、調査研究を進めます。

子育て世代移住促進住宅について伺います。この事業は、地元である高野行政区の理解と、民間のパートナー経営に配慮しながら、慎重に進めるべきだと考えます。  
また、退去後に八千代町に引き続き住み続けてもらえる

ような取り組みは考えているのかお聞きします。

町長 この事業は、八千代町初の公営住宅の建設となります。高野行政区の皆さんや近隣住民の方々には十分な説明を行いまして、事業への理解を得ながら進めてまいります。

秘書室長 退居後の町内への定住策につきましては、保留地への住宅建設の促進や空き家の活用など、住環境の整備に加え、教育施策や子育て支援の充実など、定住しなくなるような施策の推進を進めます。



子育てしやすい環境の整備を

## 吉田用水若地区幹線排水路 コルゲート管陥没について



議員 西井 直典

吉田用水若地区幹線排水路は、団体営圃場整備事業により吉田用水土地改良区において昭和60年に整備されました。造成後38年が経過し、経年劣化が激しく、何度も改修工事を行っています。

今回の改修工事では、調査・設計費などで1千万円の費用が見込まれ、その負担は、茨城県が50%、残り50%は地元負担となります。また、総事業費は、最低でも1億円はかかると思われる、莫大な費用が必要となります。地元負担金につきましては、町の最大限の補助をお願いします。

産業建設部長 今回の改修工事は、住宅地に近接している状況や深さが約4メートルと高低差もあり、困難を要する工事です。さらに、多額の費

用が生じるものと考えます。町では、陥没発生後から関東農政局や茨城県から助言をいただき、補助事業の概要及び採択要件や、工事を実施する場合の課題などについて事業調整を図っているとところでございます。

今後においても、引き続き茨城県、土地改良区等との連携を図り、早期改修に向けた対策を講じていきたいと考えています。

町長 今回の陥没工事の現場は私も副町長と一緒に現地を確認しました。道路の南北が住宅地となっていて、道路には農業集落排水事業の排水管も埋設されていることから、今後同じような事故が発生した場合には、地域住民の生活に大きな影響を与えようと考えます。

今回の工事費は、大変大きな金額になりますが、現在担当において関係機関と事業調整を進めている段階に入っています。

## 安静畑総の芦ヶ谷地内における未開通道路について



議員 奥久 直樹

昭和59年、県営安静地区土地改良事業（畑地帯総合整備事業）が導入されました。この事業の開始から完成までの二十有余年もの長い年月がかりました。平成18年に維持

地域の農業と地域住民の生活を守る要所であるという観点からも、町が主体となつて国の補助事業等を活用して事業費地区負担金の軽減と早急な対策に努めます。



コルゲート管陥没現場

管理組合が設立され、平成21年から私が維持管理組合長に就任して以来、14年になりました。

そして現在、芦ヶ谷地内に一部未開通の道路があり、地元住民の方々の生活に支障をきたしています。地権者の同意は得られたのでしょうか。また、工事着工はいつになるのでしょうか。

産業建設部長 芦ヶ谷地内の道路ですが、2級町道11号線の一部と町道3731号線、町道3915号線の3路線からなる延長約540メートルの道路であり、丸西産業の南側付近から安静畑総の幹線道路に接続する路線の一部区間です。この路線の内、未開通区間は、路線のほぼ中央部に位置し、安静畑総の区域内と区域外が交わる場所で、約60メートルの区間です。現状は、一部未開通のため、迂回道路はあるものの、農業用車両等の通行に支障をきたしている状況です。

この件は、昨年度より事業調整を行った結果、先頃、地権者より地域の発展に協力したい旨の申し出があり、同意が得られました。今年度中に道路詳細設計を実施し、来年度には用地測量及び道路改良工事の実施を考えています。この道路が開通することにより、農産物の流通及び地域農業の発展と地域のインフラ整備に寄与するものと認識しています。

今後も引き続き、事業調整を図りながら、地権者や地域住民の方々に丁寧な説明を行い、早期の工事完了を目指して事業を推進します。

地権者の方のご理解と協力に深く感謝いたします。早期開通は、地域住民の方々の願いでもありますので、町執行部には、本事業を強力に推進していただきたいと思います。



芦ヶ谷地内の一部未開通区間

## 認知症高齢者等の徘徊対策について



みずがき まさひろ 議員  
水垣 正弘

件、令和5年が1件という状況です。搜索の結果としては令和5年の1件を除き、当日もしくは翌日には不明者の発見に至り、解決しています。

近年、認知症高齢者等の徘徊による行方不明者が増えています。八千代町においても、本年7月に、平塚市内の80歳代の高齢者が朝早く家を出たまま行方不明となり、250人規模の搜索が行われました。しかし、1カ月半経った今も発見には至っていません。

そこで、町での徘徊の発生件数や状況等についてお聞きします。次に、徘徊による行方不明者が発生した場合の町の対応はどのようなものなのでしょうか。また、行方不明者にならないための予防策について伺います。

保健福祉部長 下妻警察署における八千代町民の搜索依頼件数は、令和2年が3件、令和3年が4件、令和4年が4

件、令和5年が1件という状況です。搜索の結果としては令和5年の1件を除き、当日もしくは翌日には不明者の発見に至り、解決しています。行方不明者が発生した場合の対策ですが、令和2年1月に当時の長寿支援課におきまして「八千代町認知症高齢者等徘徊対応マニュアル」を作成しています。

町長 行方不明者への対応は、できるだけ早く搜索に着手することが重要です。認知症の「徘徊行動」により行方不明となる恐れが生じた際に

## たまご&ファーマーズ株式会社の鳥インフルエンザ発生の経過と現況は



おおく としお 議員  
大久保 敏夫

今年の2月に、鳥インフルエンザが発生し、111万羽の鶏が焼却処分となりました。発生時の経過と対応を伺います。

また、今回の隣接関係者の



方々に対する対応はどのようなものだったのでしょうか。そして、鳥インフルエンザ発生から半年が経過しましたが、施設の現状と今後の事業者に対する町の考えをお聞きます。

産業建設部長 町では、鳥インフルエンザ発生の報告を受け、同日に町長を本部長とした対策本部を早急に立ち上げました。その後、全庁体制において、地域連絡会議を開催しました。

隣接関係者への対応としては、発生翌日より、職員によるチラシの配布を行い、周知活動を実施しました。防疫措置完了後には、地域住民や事業者に対する説明会を開催しました。

当該施設の現況ですが、農場の事業再開における国の特定家畜伝染病防疫指針に基づき、4点の条件を満たすことが必須であります。①農場の消毒、②排泄物の不活化、③飼育衛生管理基準の順守、④

埋却地の確保です。現状においては、それらの条件をクリアすべく現場での措置がなされ、7月6日から鶏の導入を開始し、現在40万羽が飼養されています。事業者としては、段階的に120万羽の飼養を考えているとのこと。

町長 事業者からは、今後は定期的な話し合いを行いながら事業継続をしたいとの申し出を受けております。町としましては、臭気対策の徹底と、飼養数を、多くとも今までの半分にしてほしいと、強く要望しています。



鶏舎視察時の様子

## 八千代に町議会



みやもと 直志 議員

現在の議員定数は14名となっています。近隣の町の議員定数を調べたところ、境町が12名、五霞町が10名、利根町が11名でした。町の人口に對して、その人数が適正であるか、議員間でも定数削減の議論がされています。前回の議員定数削減は、平成19年10月1日の条例改正により定数が18名から14名になりました。一方で、町村議会の議員のなり手が大変不足していることも問題になっています。関心が低く活動の内容がわからないこと、兼業の禁止、低い議員報酬の3つが一般的に言われています。

町長 令和4年7月1日時点での町村議会実態調査では、全国の町村における平均の議員定数は約12名となっています。それに対して八千代の議員は14名ということですので。単純計算すると、平均より2名多いということになります。現実にはそう簡単な話ではありません。

地方議員の役割は、地域の課題をきめ細やかに捉えることです。現代社会においては、民主主義による自治を行うに当たり、なるべく多くの人の意見を聞いた上で、政治行政を行った方がいいというのが基本的な考え方だと思います。議員定数削減にはメリットもあればデメリットもあります。近年、近隣の市町村で、議員定数削減の実績が複数ありますが、いずれも議会議員の総意によりなされています。

私としましては適正な議

## 防災対策について



みつし 光利 議員

防災訓練時に水害を想定した災害対策本部など、指揮系統と現場への相互情報伝達訓練を実施しているか伺います。また、町の地域防災計画の



員定数については議会できちんと話し合い、その結果について住民の方に説明し、理解を得るといった方がいいと思います。

私から議員定数削減について提案する場合は、行政改革上、どうしても必要なケース、あるいは活動内容と経費負担が著しく合致しないケースとを考えています。

風水害に対する基本方針は、住民自身を含めてかけがえない命を守ることです。素早い避難が大切です。そのため、日常でのマイタイムラインの周知と理解が必要だと思います。また、町の考えを伺います。

消防交通課長 鬼怒小貝水防連合体水防訓練では、水害を想定した現場と指揮系統との相互情報伝達や現地訓練を行っております。

また、令和4年度には、災害対策本部訓練として実際の災害で起こり得る様々な被害情報を処理し、対応方法を検討・判断する情報処理訓練も行いました。

さらに、国土交通省下館河川事務所との情報伝達訓練の一環として、鬼怒川の増水を想定した河川事務所長から野村町長へのホットライン訓練も毎年行っており、今後はオンライン形式での情報共有を行うなど、連携を強化してまいります。

町長 マイタイムラインは、それぞれの生活環境に合った逃げ方を事前に確認しておくことで、洪水発生時において逃げ遅れゼロを目指すための非常に有効な取り組みです。

自助共助の重要性を町民の皆様に御理解いただくため、マイタイムラインの出前講座を積極的に推進します。

現在、八菜まわゆる号の予約は1時間ごとです。1時間当たりの運行回数を増やすことはできないのでしょうか。

秘書室長 1時間間隔の便を短くしてほしいという要望があることは認識しています。今後、八菜まわゆる号の運行を委託している各交通事業者と、協議検討をしてまいります。



デマンド交通の八菜まわゆる号

# ◆ 議会議員研修視察報告

去る6月28日から30日までの3日間、議会議員研修視察のため静岡県長泉町、函南町方面を研修してまいりました。

全国的に少子化や人口減少問題が叫ばれる中、子育て支援に力を入れ、人口増加に繋がっている長泉町を視察してまいりました。

長泉町は、充実した「子供医療費支援」「学校支援施策」「子育て支援施策」を展開し、平成2年には約3万3千人だった人口が、令和4年には約4万3千人にまで増加しています。社会動態による人口増のみならず、自然動態による人口増を目指した取り組みは、子供を産み育て、そして長く住み続けたい町として住民からも支持されており、2040年の静岡県において唯一人口が増えると推計され「奇跡の自治体」と呼ばれているとの説明がありました。

その後、官民連携複合施設「フレスポ長泉」内に整備された、子育て支援センターと児童館の機能を併せ持つ、子育て支援拠点施設「パルながいずみ」を視察しました。施設の中にはプレイホールがあり、たくさんの子供たちや親御さんで溢れかえっていました。また、一時保育や育児相談など様々な子育て支援を行っているとのことでした。

今後、八千代町において取り組んでいく少子化対策を考えるうえで、非常に有意義で実りある研修となりました。



研修視察の終了後に



研修の様子

## 議会を



### 傍聴しませんか？

より多くの皆さんに議会を身近に感じていただくために、議会傍聴や施設見学を受け付けています。各種団体や学校の社会見学にお取り入れください。

次の定例会は12月に行います。詳しい日程は議会ホームページをご覧ください。



議場は役場4階にあります

TEL 0296-481111  
(内線4110)

問 議会事務局

## 産業建設常任委員会

### 委員会紹介

#### ってどんな委員会？

産業建設常任委員会は、八千代町議会に設置されている三つの常任委員会の一つです。産業建設常任委員会では、町の道路に関すること、農業・工業・商業等についての調査及び議案、請願、陳情等の審査を行ってまいります。

八千代町議会では、産業建設常任委員会の定数は4人とされており、主に定例会中に開催されます。



会議の様子